

生き活き研究会 第3回公開研究会

日時：2019年5月12日（日）
13：00～17：00

会場：愛仁会リハビリテーション病院3F
愛仁会地域交流スペース「ふれあい広場」
JR高槻駅より徒歩5分

【プログラム】

1. データ分析

- ①慢性疾患との付き合い方—位置確認
担当：坂井志織
- ②関節リウマチと家族と仕事
担当：杉林稔

お問合せは「生き活き研究会」坂井

メール：illness.pcf2018@gmail.com

HP：<http://square.umin.ac.jp/ikiiki/>

* 事前申し込み不要、参加費無



生き活き研究会
<http://square.umin.ac.jp/ikiiki/>

生き活き研究会



はじめまして

私たち生き生き研は、2018年度からスタートした『慢性の病い経験を捉える新しい概念生成に関する現象学的研究—治療や管理とは異なる視座の開拓』という研究プロジェクトの活動です。

このプロジェクトでは、従来の医療における治療や管理に目標をおく見方ではなく、現代の病いを生きる当事者の経験に接近し、生き方そのものから経験を捉える新たな概念を生成することを目的としています。

さらに、研究者だけではなく地域・職域を巻き込み、身近な病いを皆で一緒に考えることを大事にしていきます。その中で、医療や社会における病いの見方に変革を起こし、多様性を受け入れるインクルーシブな職場や地域社会を創生する価値の提案に繋がっていきたいと考えています。

「生き生きカフェ」を中心に、研究会を開催しながら研究成果を出すとともに、社会への還元も同時に行っていきたいと思っています。ご関心のある方、是非カフェや研究会にお越しください！お待ちしております。



生 活 活 研 究 会

坂井志織（首都大学東京・看護学）

菊池麻由美（東邦大学・看護学）

細野知子（日本赤十字看護大学・看護学）

小林道太郎（大阪医科大学・哲学）

榊原哲也（東京大学・哲学）

杉林稔（愛仁会高槻病院・医師）

鷹田佳典（早稲田大学・社会学）

福井里美（首都大学東京・看護学、心理学）

「慢性の病い経験を捉える新しい概念生成に関する現象学的研究—治療や管理とは異なる視座の開拓」

2017年度トヨタ財団研究助成プログラムD17-R-0563